

「コラボほっかいどう」における産学官共同研究一覧

平成22年5月

施設名	研究テーマ	研究責任者	担当者	連絡先	研究目的および内容	研究参加者		
						産	学	官
Aルーム & Gルーム	全自動糖鎖解析システムの開発	北海道大学大学院先端生命科学研究 院 教授 西村 紳一郎	北海道大学大学院 先端生命科学研究 院 特任助教 古川 潤一	726-1551	多くの疾患で糖鎖変化が報告されているが、解析が煩雑で十分な検討がなされておらず、血清や組織の糖鎖を詳細に解析した結果、糖鎖が発症前に変化し、予防診断として有望であることから、生体内糖鎖を高速・簡便・定量的に測定できる糖鎖分析装置を開発する。	システム・インストルメンツ(株) 研 究 員 濱田 和幸 山崎 博司 ブルカー・ダルトニクス(株) 前川 保彦 サイエンス・テクノロジー・システムズ(株) 福島 信弘 橋本 亮 塩野義製薬(株) 浅田 英久	北海道大学大学院先端生命科学研究 院 教 授 西村 紳一郎 特任助教 古川 潤一 実験補助員 工藤 里美	
Bルーム	糖鎖による診断システム統合ソフトウェアの開発	北海道大学大学院先端生命科学研究 院 教授 西村 紳一郎	北海道大学大学院 先端生命科学研究 院 特任助教 古川 潤一	726-1551	血清中糖鎖の定量的発現プロファイルに基づき疾患診断情報を与えるまでの一連の工程を全自動化する「全自動糖鎖プロファイル診断システム」に対する統合的なインターフェイスを有するソフトウェアを開発する。具体的には、前処理・測定・プロファイル解析・疾患診断に関するアプリケーション群を実装した統合インターフェイスの開発、および測定機器とサーバー間のセキュアな通信を付加させた医療機器対応の診断システムの構築を行います。	サイエンス・テクノロジー・システムズ(株) 福島 信弘	北海道大学大学院先端生命科学研究 院 教 授 西村 紳一郎 特任助教 古川 潤一 特定専門職 諸岡 千秋	
Cルーム	自己組織化ハニカム膜の製造技術開発	東北大学多元物質科学研究所 教授 下村 政嗣 (北海道大学名誉教授)	下村研究室 技術職員 木村 古乃美 研究補助員 奥原 亜季	758-0056	北海道大学で見出された自己組織化によるハニカム膜の製造技術を開発し、高品質な膜を安定的に製造する。	シンセメック㈱ 代表取締役 松本 英二	東北大学多元物質科学研究所 教 授 下村 政嗣 准 教 授 田中 賢 助 教 藪 浩 技 術 職 員 岩崎 純子 技 術 職 員 木村 古乃美 北海道大学 教 授 居城 邦治 特任教授 山本 貞明 助 教 松尾 保孝 研究補助員 奥原 亜季	
Dルーム	農畜水産資源を活用した機能性食品素材の開発	日本ハム(株)中央研究所 所長 森松 文毅	日本ハム(株)中央研究所 専任顧問 山田 良司	708-8065	農畜水産未利用資源の活用を目的に、免疫機能の改善その他健康に有用な素材の機能性の研究、製造技術の開発及び食品へのアプリケーション技術を開発する。	日本ハム(株)中央研究所 所 長 森松 文毅 専任顧問 山田 良司 主任研究員 大森 丘 研究員 藤村 達也	北海道大学大学院農学研究院 助 教 若松 純一	
Eルーム & Fルーム	分子標的抗癌治療薬並びに分子標的予防食品の開発	㈱セラバリュース 所長 佐藤 謙一	㈱セラバリュース 所長 佐藤 謙一	708-1732	①難治性癌治療を目標として、癌細胞の細胞死(アポトーシス)耐性に関する新規分子標的を阻害することにより細胞死を誘導する抗癌薬を開発することを目的とする。 ②メタボリックシンドローム等の生活習慣病の予防を目的として、核内受容体を分子標的とする予防食品の探索・開発を実施する。	㈱セラバリュース 研 究 所 長 佐藤 謙一 主 席 研 究 員 忍 典昭 研 究 員 小出 秀之 顧 問 高乗 仁	北海道大学大学院医学研究科 教 授 浅香 正博	